

コミュニケーションツールのご案内

当社は、公式サイトやソーシャルメディア等を利用したプロモーションや企業活動の告知を行っております。コミュニケーションの充実に努めてまいりますので、ぜひ、株主の皆様も様々な形で当社に触れてみてください。

理経の最新IRニュースをメールでお届けします。登録は以下よりお願いいたします。

公式ウェブサイト

IR情報

<https://www.rikei.co.jp/finance/>


公式Xアカウント

お知らせ・ニュースリリース


@rikei_pr
(旧 Twitter)


メールマガジン

製品情報

rikei.co.jp/prml


IRメール配信サービス

最新IR関連ニュース

rikei.co.jp/irml


株主メモ

事業年度 4月1日から翌年3月31日まで

期末配当金受領株主確定日 3月31日

中間配当金受領株主確定日 9月30日

定時株主総会 毎年6月

株主名簿管理人
特別口座 口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
東京都府中市日鋼町1-1

TEL **0120-232-711**
(通話料無料) (平日9:00~17:00)

ホームページ
<https://www.tr.mufg.jp/daikou/>



同 郵 送 先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

上 場 市 場 東京証券取引所 スタンドード市場

電子公告
公告掲載URL

<https://www.rikei.co.jp/>



公告の方法

ただし、事故その他のやむを得ない事由によって電子公告をすることができないときは、日本経済新聞に掲載して行います。

【お知らせ】

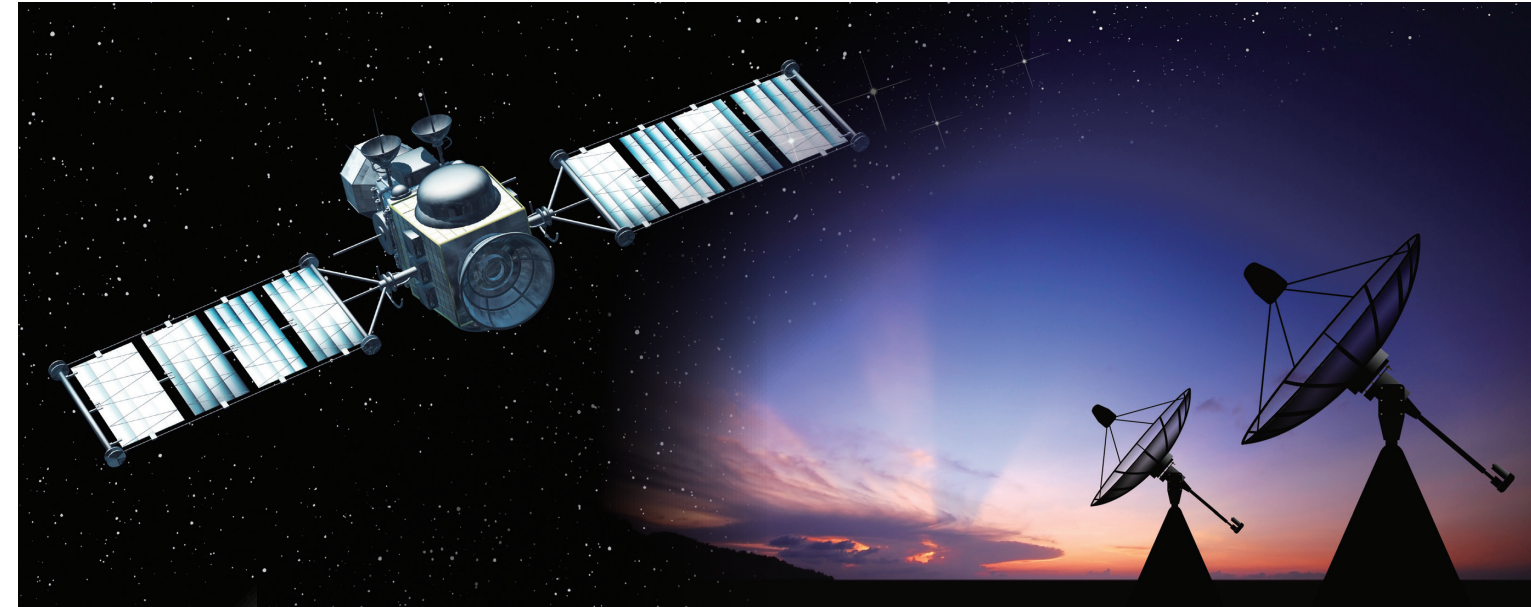
- (1) 株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則として、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取扱いできませんのでご注意ください。
- (2) 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、左記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行本支店においてもお取次ぎいたします。
- (3) 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

「配当金の口座受取り」に関するご案内

配当金を「配当金領収証」でお受取りの株主の皆様へ

配当金のお受取りを銀行や証券会社の口座への振込にされると、支払開始日に迅速かつ安全、確実にお受取りいただけますので、ぜひご検討ください。

口座受取りを希望される場合は、お取引の証券会社までお申し出ください。証券会社に口座をお持ちでない株主様は、左記三菱UFJ信託銀行へお申し出ください。



RIKEI REPORT 2025

第69期 中間報告書

2025年4月1日 ▶ 2025年9月30日

Topics

[JAPAN USD Automotive]の提供を開始

PFASを吸着・除去するソリューションの開発への取り組み

総務省総合無線局監理システム[PARTNER]を構成するソフトウェアの提供

陽光ビルサービス株式会社に
かんたん報告書作成アプリ「いつでも報告」を導入

第14回[NIPPON IT チャリティ駅伝]に参加

宇宙ビジネスやAI開発などの NEXT事業創出で、 新たな価値を創造してまいります

株主の皆様には平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、当社は第69期の上半期(2025年4月1日から2025年9月30日まで)を終了いたしましたので、その概況についてご報告申し上げます。

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、インバウンド需要の増加や雇用・所得環境の改善により緩やかな回復基調で推移しました。一方で、米国の通商政策の動向やロシア・ウクライナ情勢の長期化による不安定な国際情勢、継続する原材料価格の上昇など、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような環境下、当社グループは、サステナビリティ戦略に基づき、基幹事業の収益基盤強化、新規事業開拓でのNEXT事業創出、M&A、資本参加等の事業投資、待遇改善や社員教育の充実化での人財への投資を行っていくことで持続性のある企業成長を目指し、法令遵守、経営資源の有効活用と地球環境保全に積極的に取り組み社会的責任を果たしてまいります。

2025年6月に公表いたしました中期経営計画に基づき、宇宙ビジネス、AI開発環境構築等のNEXT事業



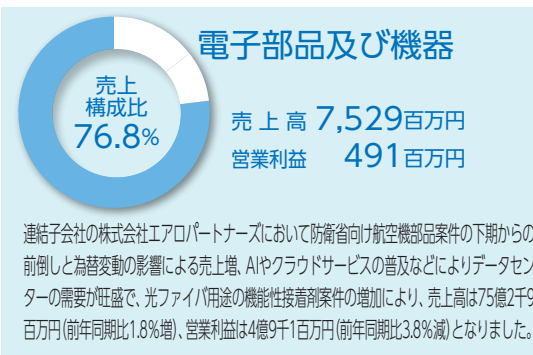
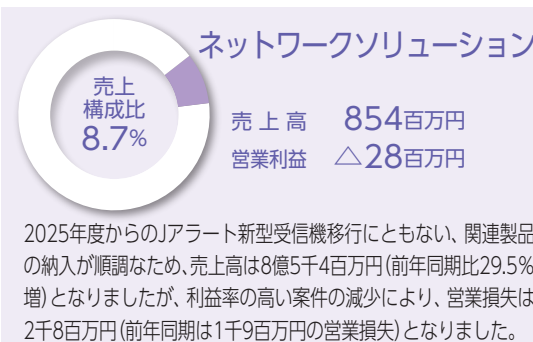
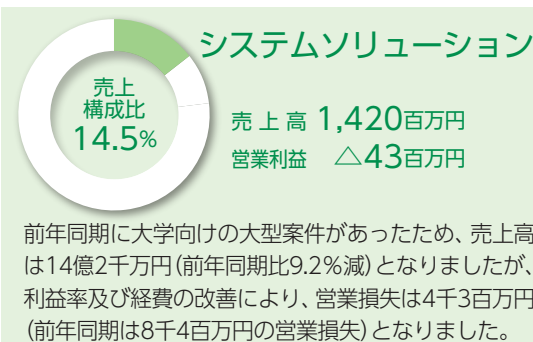
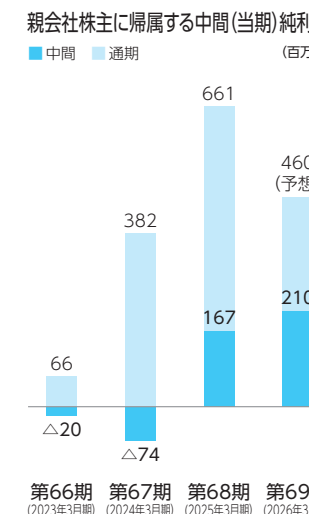
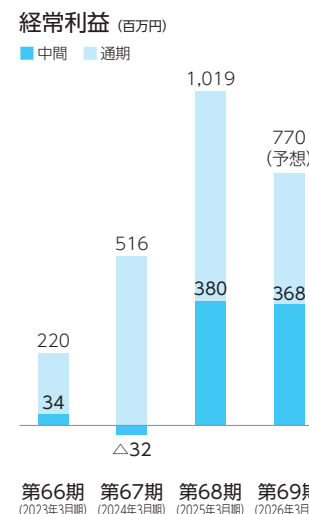
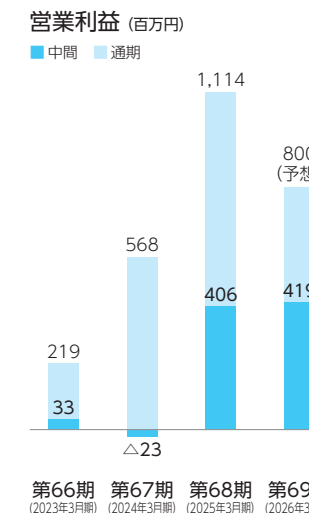
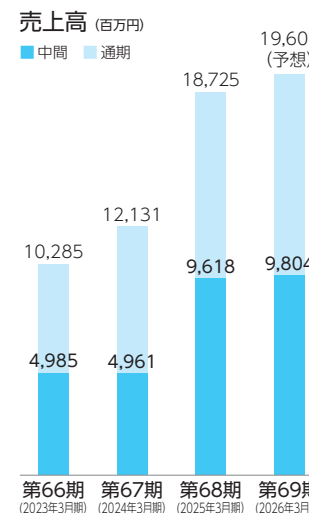
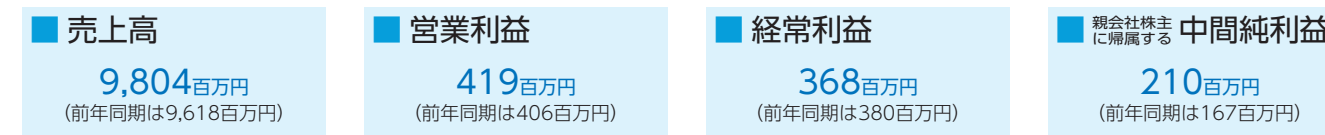
代表取締役社長 猪坂 哲

創出に向けた取り組みを積極的に推進します。

この結果、当中間連結会計期間におきましては、連結売上高は98億4百万円(前年同期比1.9%増)となりました。損益面では、営業利益は4億1千9百万円(前年同期比3.4%増)、経常利益は3億6千8百万円(前年同期比3.3%減)、親会社株主に帰属する中間純利益は2億1千万円(前年同期比25.6%増)となりました。

今後も引き続き、業績の更なる拡大を図るとともに、社会に貢献する製品やソリューションを提供する企業体への変革を目指します。

株主の皆様におかれましては、今後ともなお一層のご指導とご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。



「JAPAN USD Automotive」の提供を開始

当社は、2025年9月に自動車業界向けに特化したOpenUSD^(※1)形式の産業向けデジタルツインアセット製品「JAPAN USD Automotive」の提供を開始いたしました。

デジタルツインとは、現実世界の情報を仮想空間で忠実に再現し、シミュレーションなどに役立てる技術を指します。

自動車分野では、自動運転やADAS^(※2)開発において走行環境や交通状況を再現した高度な検証が求められており、デジタルツイン技術の活用が注目されています。



本アセットパックには多様な走行シーンや外部環境が含まれており、センサーシミュレーションや様々なシナリオを反映した検証が可能です。これにより実車試験前の効率的な開発、コスト削減、開発スピードの向上を実現します。

■特長

- 本アセットパックは多くの3Dソフトウェアとの互換性に優れたOpenUSDフォーマットで作成されており、NVIDIA OmniverseTM(※3)内で編集・変更が可能です。
- 従来のアセットは海外仕様を中心に、自社の試験コースや周辺環境の再現が困難でしたが、本アセットパックには日本規格に合わせた3Dモデルが100以上含まれており、国内自動車メーカーや研究機関にとって使いやすい内容となっています。
- 豊富なマテリアルライブラリを利用することで、路面や建造物などの質感を容易に変更できるため、試験環境やシナリオに応じて自由にカスタマイズが可能です。
- 「NVIDIA OmniverseTM Enterprise」というプラットフォームを組み合わせることで、ユーザーは自社の走行試験環境の再現が可能になります。また、当社が提供するトレーニングを通じて、ユーザーはシンプルな操作で自由に自車両データの取り込みやセンサー設置などを内製で開発できるようになります。

当社は、「JAPAN USD Automotive」の提供により、自動車業界でのデジタルツイン化に貢献してまいります。

※1 OpenUSD: 「Universal Scene Description」 Pixar Animation Studiosが開発した、3Dコンテンツなどの描画に必要な要素を管理するデータ構造
 ※2 ADAS: 「先進運転支援システム」ドライバーの運転操作を支援する様々なシステム ※3 NVIDIA OmniverseTM: NVIDIA社が提供する開発プラットフォーム

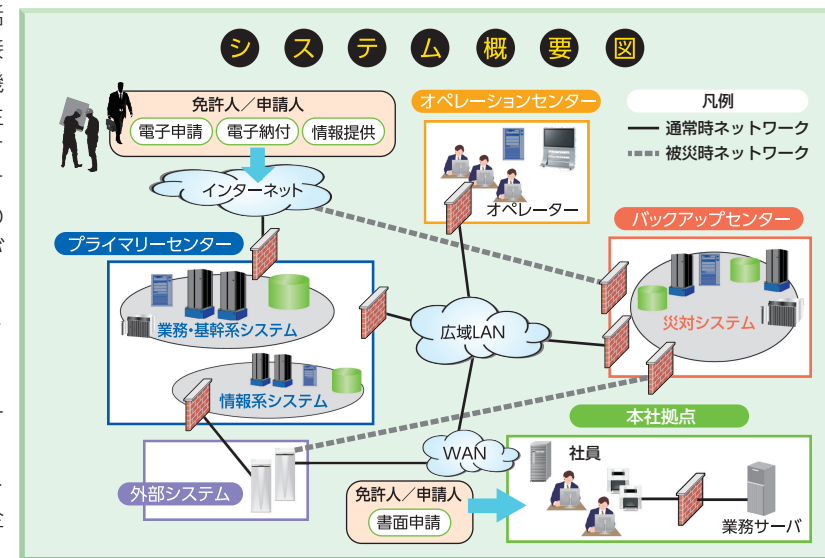
総務省総合無線局監理システム「PARTNER」を構成するソフトウェアの提供

総務省総合無線局監理システム「PARTNER」とは、無線局に関する各種のデータベースを構築し、そのデータベースを活用して、無線局申請処理、周波数管理等の電波監理事務の迅速かつ効率的な実施を支援するためのシステムです。PARTNERの主な目的として、無線局監理事務の効率化、電波の利用者への行政サービスの向上、電波行政施策の企画立案等の支援などがあげられます。

昨今、無線を利用した機器は、携帯電話や放送だけではなく、Wi-Fi、非接触ICカードやETCなど多くの電波利用機器が国民生活に浸透しています。国民生活の利便性を高め、経済社会を活性化していくためには、新たな電波利用を可能とする周波数の確保や、相互に干渉や混信等の問題が発生しないよう適正な電波監理が必要不可欠です。

当社はPARTNERを構成するソフトウェア全般の提供を行っており、主にセキュリティ（端末情報・データの外部漏洩防止等）に係るソリューションの導入や運用サポートを行っております。

今後も、PARTNERに係る最適なソフトウェアを提供することで、電波利用の安全性強化、効率化に貢献してまいります。



PFASを吸着・除去するソリューションの開発への取り組み

■PFASとは

PFAS(有機フッ素化合物)は撥水・撥油性や耐熱性に優れ、調理器具、衣類、泡消火剤などに幅広く使用されてきた人工化学物質です。炭素とフッ素の結合が非常に強固なため、自然界で分解されにくく、「永遠の化学物質」とも呼ばれています。環境中に残留しやすく、飲料水や食物を通じて人体に蓄積されることで、発がん性、生殖・発達障害、免疫機能低下などの健康リスクが懸念されています。特にPFOS・PFOA・PFHxSといった長鎖PFASは血液中からも検出されており、世界各国でこれらの物質の製造や使用などの規制が進められています。日本でも米軍基地周辺や工場地帯での水質汚染が報告されており、報道特集が組まれるなど注目を集め、2024年には水道水の基準値が設定されるなど、ようやく対策が本格化し始めました。しかし、PFASは1万種類以上存在し、未規制の物質も多いため、今後の包括的な調査と規制強化が求められています。

■イオン交換樹脂を用いたPFASの吸着・除去

当社では、かねてより取引のある室町ケミカル株式会社が開発したPFAS吸着用イオン交換樹脂を用い、大型の工場から小型の店舗に至るまで様々な規模で発生する廃水に含まれるPFASを高レベルで吸着・除去できるソリューションの実現に向け、1年前より取り組みを進めております。この取り組みにおけるイオン交換樹脂とは、単位体積当たりのPFAS吸着容量が、同じ吸着材である活性炭に比べて5~10倍あり、長鎖から短鎖まで幅広いPFASの吸着に対応できることから、複数種のPFASが高濃度で混在する廃水の水処理において高いパフォーマンスを実現します。

廃水に含まれるPFASを吸着・除去することで、廃水による海洋・土壌汚染を防ぎ、生態・環境保全に貢献してまいります。



イオン交換樹脂

株式会社ネットウエルシステム（連結子会社） 陽光ビルサービス株式会社に「かんたん報告書作成アプリ」[いつでも報告]を導入

陽光ビルサービス社は、仙台市に拠点を置くビル・マンション等の管理企業です。この度、報告書作成業務の効率化を目的として「いつでも報告」を導入いただきました。現場で報告書作成が可能な点や、従来と同様のフォーマットで報告書作成が可能な点を評価いただき導入に至りました。

■特長

●報告書入力の効率化

「いつでも報告」は、スマートフォンやタブレットを使用し、現場で報告書入力・画像貼付が可能です。従来は事務所のPCで報告していたため、現場でメモを取り、帰社後に入力、画像はPCへ移行して貼り付ける必要がありましたが、導入によりこれらの手間が削減されました。

●これまでと同様の報告書フォーマットが使用できる

これまでと同様の報告書フォーマットで出力ができるため、クライアントへの運用変更は不要です。

●管理業務も効率化

現場から報告された内容は、管理画面でリアルタイムに確認できます。即時性の高い情報共有により、管理業務も効率化します。

■今後のアップデート予定

現在Androidアプリとしてサービスを提供しておりますが、年内にWebシステム化を予定しております。これにより端末に依存せず、様々な環境から利用が可能となります。

今後もお客様のニーズに応じた最適なシステムを提供することで、導入企業の業務効率化及びDX推進に貢献してまいります。



第14回「NIPPON IT チャリティ駅伝」に参加

当社は、11月16日(日)に東京・お台場で開催された第14回「NIPPON IT チャリティ駅伝」に、ゴールドスポンサー兼ランナーとして参加いたしました。この大会は、スポーツを通じてIT企業が貢献する施策として企画されました。NIPPON IT チャリティ駅伝 実行委員会が主催し、チャック・ウィルソン氏が実行委員長を務めます。

大会で得た収益は、「うつ病」「ひきこもり」の方々の就労支援をしているNPO団体FDA (Future Dream Achievement)に寄付されます。ランナー1人の参加費で、現在就労に悩んでいる方が1日の就労トレーニングを受けることができます。そのほか、東日本大震災、熊本地震、能登半島地震などの地震災害、各地の豪雨災害などで被災された地域の復興支援として役立てられます。

当社は、ゴールドスポンサー兼ランナーとして大会に参加することで、社会に貢献してまいります。



会社概要 / 株式状況

■会社概要

商号	株式会社 理経 (RIKEI CORPORATION)		
本社所在地	〒160-0023 東京都新宿区西新宿三丁目2番11号 新宿三井ビルディング二号館		
設立	1957年6月8日		
資本金	34億2千6百万円		
決算期	3月		
従業員数	単体：134名 連結：174名		
役員	代表取締役社長 猪坂 哲 取締役(社外) 伊達 雄介 常務取締役 古畑 直樹 取締役(社外) 滝澤 明久 常務取締役 小柳 誠 取締役(社外) 越野 純子 取締役 古田 耕児 常勤監査役 山岸 行人 取締役 長谷川 章詞 監査役(社外) 古谷 伸太郎 取締役 小金丸 裕晃 監査役(社外) 佐藤 瑞枝 取締役 横山 晋司		

■支店及び営業所

大阪支店	大阪市北区西天満1丁目7番20号
千歳・恵庭営業所	北海道恵庭市京町56番1号
東北営業所	仙台市青葉区一番町3丁目3番1号
名古屋営業所	名古屋市中区丸の内3丁目17番4号
九州営業所	福岡市博多区博多駅前2丁目20番1号
技術センター	千葉市美浜区中瀬1丁目3番地
沖縄出張所	沖縄県那覇市前島3丁目25番2号

■連結子会社

株式会社エアロパートナーズ 事業内容：航空機及び航空機器部品の販売・リース・カスタマーサポート
株式会社ネットウエルシステム 事業内容：システム開発・サービスの提供
エアロパートナーズ・アメリカ,Inc. 事業内容：航空機及び航空機器部品の輸出入

■株式の状況

発行可能株式総数	55,000,000株
発行済株式の総数	15,514,721株
当期末株主数	11,131名

■大株主（上位10名）

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
石川 大樹	1,296	8.57
MSIP CLIENT SECURITIES	723	4.78
野村信託銀行株式会社(投信口)	470	3.11
明治安田生命保険相互会社	465	3.07
NOMURA INTERNATIONAL PLC A/C JAPAN FLOW	413	2.73
BNYM SA/NV FOR BNYM FOR BNYM GCM CLIENT ACCTS M ILM FE	369	2.44
上田八木短資株式会社	345	2.28
BNY GCM CLIENT ACCOUNT JPRD AC ISG (FE-AC)	317	2.09
MORGAN STANLEY & CO. LLC	288	1.91
株式会社SBI証券	270	1.79

(注) 持株比率は自己株式395千株を控除して計算しております。また、小数点第2位未満を切り捨てて表示しております。

■所有者別株式分布状況

